



施設課の業務は、病院の運営において重要な役割を果たしており、施設や設備の管理、医療機器などの更新や維持管理、修繕業務、防火防災管理、予算管理、備品購入、外部業者との連携、病院敷地内の環境整備など多岐

にわたっています。

患者さんや職員が安心して利用できる病院を目指し、常に安全で快適な環境を提供するよう努めています。

● 施設係

主に建物や空調設備等の維持管理、医療機器などの固定資産の登録管理などを行っています。又、法令に従い電気設備の点検を年に1回、消防訓練は年に2回計画し実施しています。

● 備品消耗品係

主に備品消耗品（事務用品など）の業者への発注や請求伝票を作成しています。また各部署で使用している消耗品などの価格に変更がないかを確認した上で棚卸し業務（年に2回）を実施し、備品の在庫管理等を行っています。



消防訓練（消火栓の使用訓練）



消防訓練（患者さんの避難誘導訓練）

● 医療材料係

主に病院内の各部署で使用されている医療材料（手袋や注射器など）の在庫管理や発注、業者との価格交渉などです。特に昨今では物価上昇にともない医療材料価格の値上がりが顕著なため、よりいっそう病院経営に対する材料費の影響を意識して業務にあたっています。

● 医療機器係

院内の医療スタッフと医療専門商社をつなぐ役割を担い、事務処理を行っています。費用対効果を考慮しながら、医療機器や備品の新規購入や修理の手配などを担当しています。

また、「第Ⅰ種衛生管理者」の資格を活かし、医療現場の衛生環境を維持するとともに、職員や患者さんの健康と安全を設備面からサポートしています。



電気設備の点検

● 営繕係

主に施設や設備の修繕に関する業務を担当します。対象は車椅子から建物まで多岐に渡っており、可能な限り営繕担当者が修理しています。

● ボイラー室

ボイラー室業務は、空調設備や温水供給設備、地下水浄化装置等のライフラインを管理するという重要な役割があります。又、防災センターの役割も担って24時間体制で勤務しており、病院の安全性と快適性を保つ上で不可欠な部署です。



車椅子の修理作業



空調装置の点検



高架水槽



防災センターでの警報盤の点検



地下水浄化装置

関節リウマチ (2)

膠原病・リウマチ内科部長 鈴木 文仁

● 劇的な効果がある
生物学的製剤とJAK阻害薬

関節リウマチの治療目標は、①関節痛の軽減、②関節破壊の伸展防止、③身体機能の改善の3点であり、これらを達成するために様々な種類の抗リウマチ薬が上市されています。メトトレキサートはその代表格とされ治療の柱を担い、当院でもリウマチ患者さんの53.9%で使用されています。3ヶ月ごとに治療効果を判定し、これら従来の抗リウマチ薬（経口）に効果不十分の場合は、より効果の見込める生物学的製剤（自己注射または点滴）またはJAK（ジャックと読みます）阻害薬（経口）が適応となります。

生物学的製剤は9種類、JAK阻害薬は5種類の製剤が上市されていますが、位置付けはどれも同じとされており、患者さんの症状や合併症の有無、生活スタイルなどを踏まえ選択されます。

これら生物学的製剤およびJAK阻害薬は、従来の抗リウマチ薬とは一線を画する劇的な効果を

を有し、炎症による関節破壊の進行を食い止めることで患者さんの関節予後を有意に改善させることが可能となりました。当院ではリウマチ患者さんの40.2%で使用されており良好な成績を収めています。

● 十分な感染症対策が必要で
薬価が高いのがネック

一方で万物には光と影があるもので、免疫が弱まることによる細菌・かび・ウイルスなどの感染症には十分な留意が必要であり、うがい・手洗い・マスクなどの感染対策を習慣づけるよう患者さんにお願ひしております。また肺炎球菌ワクチン・インフルエンザワクチン・带状疱疹ワクチンなどの各種ワクチンの定期接種も推奨されています。

薬価が高いこともネックであり、投与の適応であるにもかかわらず経済的理由で断念する方も少なくありません（別表参照）。

今後も様々な新薬が登場すると予想され、関節リウマチの治療は進歩していくことと思われます。

表：各薬剤の一月あたりのおおよその費用

生物学的製剤	一月あたりの 薬剤費(1割)	一月あたりの 薬剤費(3割)	JAK阻害薬	一月あたりの 薬剤費(1割)	一月あたりの 薬剤費(3割)
レミケード点滴	4,200円	12,400円	ゼルヤンツ錠	12,700円	38,000円
エンブレル皮下注	7,900円	23,800円	オルミエント錠	12,600円	37,700円
ヒュミラ皮下注	10,400円	31,000円	スマイラフ錠	10,900円	32,700円
シンボニー皮下注	10,700円	31,900円	リンヴォック錠	12,200円	36,400円
シムジア皮下注	11,200円	33,400円	ジセレカ錠	11,700円	35,000円
ナノゾラ皮下注	11,300円	33,900円			
アクテムラ皮下注	6,600円	19,600円			
ケブザラ皮下注	9,400円	28,100円			
オレンシア皮下注	11,400円	34,300円			

連携医のご紹介

いしかわ耳鼻咽喉科クリニック

院長 石川 敏夫



診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	休	○	○	◇
午後	14:30～18:00	○	○	休	○	○	◇
◇土曜日	午前	9:00～12:00					
	午後	14:30～16:00					

休診日 水曜日・日曜日・祝日

連絡先 〒300-2359
茨城県つくばみらい市紫峰ヶ丘1丁目8-3
☎ 0297-57-8733

当院は2012年、つくばみらい市のみらい平駅近くに開業して14年目となります。新しい街の町医者として尽力してきました。

地域に必要な医療、例えば幼少児の反復する急性中耳炎、重症化する花粉症、補聴器装用などに力を注いできました。またコロナ禍では市の集団ワクチン接種や発熱外来を積極的に行ってきました。今後もその姿

勢を変えることなく、地域医療に貢献できるように努めてまいります。

JAとりで総合医療センターには患者様のご紹介で大変お世話になっております。診断に至るまでの検査結果、鑑別疾患などを丁寧に教えていただけるので、安心して患者様をご紹介させていただいております。今後とも宜しくお願い致します。

新人のご紹介

3階西病棟



3階西病棟には今年度3名の新人看護師が入職しました。当病棟は、腎臓内科・膠原病内科を主科とし、患者さんと長く関わることの多い病棟です。透析導入時の関わりや生活指導など、患者さんの個性に合わせて看護を行っています。

日々覚えなければいけないことがたくさんありますが、3名とも一生懸命学習しながら患者さんに寄り添い、少しずつ成長しています。患者さんが安心して入院生活を送れるような看護が出来るよう、これからもスタッフ一同サポートしていきます。

新人教育委員

当院でお産した方からのメッセージ



- 大変お世話になりました。出産後も母乳のことなど相談に乗って頂き、ありがとうございました。

- 助産師さん、看護師さん、スタッフの皆さんがとても親切で気にかけてくれて、入院中安心して過ごせました!もし何か今後も悩みがあれば相談したいと思います!。

- 産後のケアがとても丁寧で親切に感じました。毎日体調を気にかけてくださって、薬なども入院中すぐに用意してくださいました。ありがとうございました。食事とても美味しかったです。



- 安心して出産できました。助産師さんもみんな親切でとても良い人ばかりなので退院するのがとても寂しく感じるくらいでした。お世話になりました、本当にありがとうございました。またお世話になることがありましたらよろしくお願いします。

- 出産後のマッサージが気持ちよかったです。ありがとうございました。



- 超高齢での出産でしたが、主治医の先生も助産師さんもスタッフさんも、そんなことは感じさせない対応をしてくださいました。入院中は、無事に出産したことを皆さん一緒に喜んでくださって、あたたかい気持ちで過ごす事ができました。

- 総合病院でしたが、とてもきめ細かいサービスでした。お医者さんも看護師さんもみなさんいい方で、特に助産師さんたちは妊婦健診から出産時、産後まで気遣っていただき嬉しかったです。面会できない時期で他の妊婦さんもいなくて寂しかったですが、助産師さんが声をかけてくれたので安心して過ごせました。ご飯も毎日お祝い膳が出て満足です。

地域医療講演会に約120名参加

～高齢に向けての準備について熱心に聴講～



2月15日、取手大利根ライオンズクラブと取手市身体障害者福祉協議会が共催し、当院が協賛する地域医療講演会が当院の3階講堂で開催されました。

テーマは「高齢に向けての準備」で、当院の富満院長から高齢化に伴う身体の変化や認知機能と運動機能の低下を遅くする方法などが紹介されました。また理学療法士の板垣昭宏さんは転倒予防の体操について講演し、言語聴覚士の岡崎颯土さんは誤嚥予防の体操について講演し、会場の皆さんに実際に行ってもらった場面もありました。約120名の皆様が熱心に聴講し、足首を柔らかくする体操やサプリメントの効果などについての質問も出されました。アンケートには「これから健康で元気に生きていくためのヒントをいただくことができた」などの感想が寄せられました。

出前講座で口腔機能をチェック

～第41回ほほえみセミナーで井口寛弘医師が講演～



自動測定器で舌、口唇などの運動機能(滑舌)を測定している様子

2月20日、「おしゃべり処ほほえみ」が主催する第41回ほほえみセミナーが桜が丘自治会館で開催され、当院の高齢者(嚥下)歯科科長の井口寛弘医師が講演しました。

テーマは「口腔機能のレベルチェックとりハビリ～最後まで自宅で暮らすためにPart3～」で、井口医師はこれまでも口腔機能の維持の大切さについて講演を行い、今回で3回目となります。

講演では、オーラルフレイル(口腔機能低下症)の予防のポイントについて紹介した後で実際に唾液量を測定し、舌、口唇などの運動機能の評価も行われました。

アンケートには「つばの大切さがわかった」という声や「年1回のJAとりで井口先生の講座がとても楽しみです。特に今回はレベルチェックがあり、とても良かったです。次回の講座を楽しみにしています」といった声が寄せられました。

祝日の月曜日の一部を開院します

今年度、祝日の月曜日の一部を開院します。
全ての診療科で平日の月曜日と同じ診療、検査を行う予定です。
外来受診の際にご注意いただくようお願いいたします。

開院日 2025年7月21日（月）
 8月11日（月）
 11月24日（月）
 2026年1月12日（月）

NSTニュース

Vol. 1

（NST：栄養サポートチーム）

静脈栄養のための輸液、エネフリードが新規採用されました。

ブドウ糖、アミノ酸、脂質、水溶性ビタミン9種がバランスよく配合された製剤で、550mlで310kcal、アミノ酸15gが投与できます。これまで別個に投与していた脂肪乳剤が配合されているため、投与がより簡便になり、患者

さんの栄養状態の維持だけでなく、業務上の負担削減も期待できます。しかし投与にあたっては細菌汚染に注意する必要があり、他の薬剤との混合禁止、点滴ルートとの交換といったルールがあります。合併症を予防し患者さんの回復力を最大限に引き出すために適切に使用していきましょう！

栄養サポートチーム



「JAとりで通信」のアンケートにご協力をお願いします

右のQRコードからアンケートを開きお答え頂くようお願いいたします。



今月の表紙

施設課は、清潔で快適な環境の提供、安全対策の実施、建物や医療設備の管理等を通じて、患者さんが安心して利用できる医療環境を提供します。